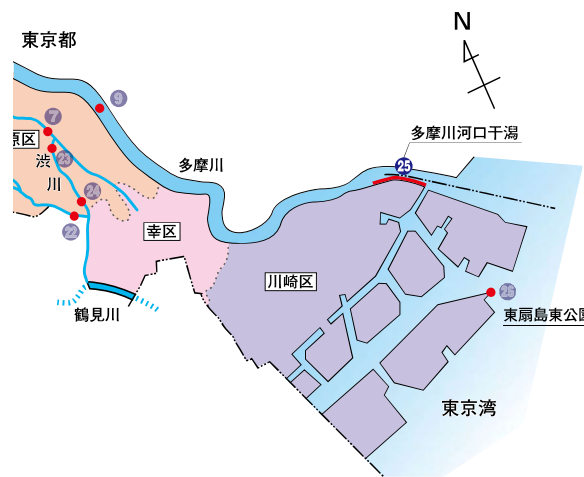


# 多摩川河口干潟ってどんなところ

干潟は、川の上流の栄養分をたくさん含んだ土砂が運ばれて、河口で堆積してできたもので、潮の満ち引きにより姿を現したり水中に隠れたりする、砂と泥でできた平らな地形のことです。ここでは、トビハゼをはじめ、水鳥やカニ、貝類など多くの生物が生息しています。

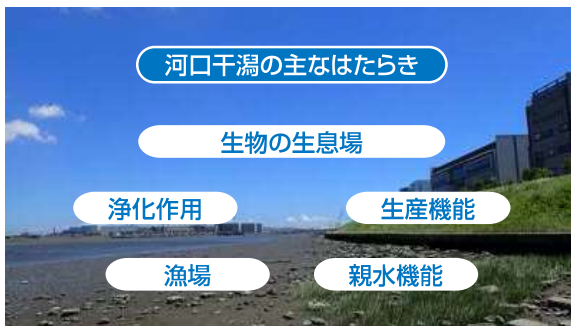


●電車で 京急大師線「小島新田駅」から徒歩15分  
●バスで 「川崎駅」や京急大師線「産業道路駅」からのバス便もあり。

## 河口干潟のはたらき

河口干潟では、藻類が光合成を行い、たくさんの有機物と酸素を生産するほか、水のろ過や貝などによる水の浄化作用で、魚などの生育や鳥の休養といった大切な生息場となっています。

羽田空港に隣接するこの貴重な自然は、川崎市の人々にとっての身近な憩いを持てる親水の間ともなっています。



## シジミによる水質浄化能力

シジミやアサリなどの二枚貝は水をきれいにする力(水質浄化能力)があります。シジミによる水質浄化実験でも、2時間程度で水のにごりがなくなる様子を観察できます。

アサリ1個には、1時間に1リットルの水をろ過する能力があると考えられています。東京湾のアサリの推定生息量から、生活排水などで東京湾に流れ込む炭素量の約0.1%をアサリが取り除いてくれる計算になります。

### シジミによる水質浄化実験



シジミを入れた水 シジミを入れない水



多摩川河口干潟

## 様々な顔をもつ干潟



アシなどの植物が多く生物の隠れ場所にもなる。



大きな礫が多く、生物の隠れ場所となるものが多い。



広い干潟が出現し、鳥類、甲殻類が多く見られる。



水はけがよくややかたい底質。カニ類が多く見られる。



東京湾に注ぐ河口部。底質は、粒子の細かい砂質。



トビハゼ